

令和7年人里出没抑制等のためのヒグマ春期管理捕獲事業(北海道)

事業概要	北海道が 北海道ヒグマ管理計画(第2期)に基づき、2023年(令和5年)2月に開始したヒグマの捕獲制度。 【補助率】2～3月:1/2(道補助金)、4～5月:1/2(国指定管理鳥獣交付金)、1/4(道補助金)			
	市町村が捕獲許可を北海道に申請し、生活圏から概ね10km以内の山野を含む人里隣接区域で、残雪期にヒグマの捕獲を行うことで、ヒグマに対して人への警戒心をもたせるとともに、ヒグマ対策に必要な人材を育成し、地域の危機管理体制の充実を図る。			
実施結果 (R6実績)	捕獲許可期間 (参考:昨年実績)	令和7年3月1日から5月31日 (令和6年2月1日から5月31日)		
	実施区域	釧路地区	阿寒地区	音別地区
	実施期間 (参考:R6年実績)	令和7年3月中旬から5月末 (令和6年2月3日～4月6日) (令和6年2月17日～4月13日) (令和6年2月23日～4月29日)		
	実施時間 (参考:R6年実績)	6:00～10:00(3～4時間) (9:30～12:00)	9:30～12:00(約3時間) (R7とR6で変更なし)	早朝、夕方 (R7とR6で変更なし)
	出勤回数 (参考:R6年実績)	3月2回、4月6回、5月5回 計13回 (8回)	3月2回、4月3回、5月5回 計10回 (12回)	3月2回、4月3回、5月10回 計15回 (12回)
	出勤場所 (参考:R6年実績)	釧路市 音羽、新野、鶴丘、駒牧、桜田、美濃、山花、青山、旧鶴居軌道 阿寒町 東舌辛、東舌辛南、東舌辛東 (青山4回、駒牧4回)	西徹別、布伏内、知茶布、上舌辛(5回) 阿寒湖温泉(5回) (布伏内6回、阿寒湖温泉6回)	霧里(8回) 茶安別(7回) (霧里6回、茶安別6回)
	従事者数(のべ) (参考:R6年実績)	熟練者13名、経験の浅い捕獲者13名 (熟練者17名、経験の浅い捕獲者15名)	熟練者10名、経験の浅い捕獲者10名 (熟練者31名、経験の浅い捕獲者16名)	熟練者38名、経験の浅い捕獲者22名 (熟練者27名、経験の浅い捕獲者21名)
	実施方法 (参考:R6年実績)	事前に活動ルート(エゾシカライトセンサスルート、青山林道、旧鶴居軌道)を決めて、主に車両で移動してヒグマの痕跡及び個体を検索する 車両では入れない場所、ヒグマの追跡は徒歩 (実施場所を決めて、徒歩で山野を搜索)	実施場所を決めて、主に車両で移動してヒグマの痕跡及び個体を検索する (R7とR6で変更なし)	事前に活動ルートを決めて、主に車両で移動してヒグマの痕跡及び個体を検索する 車両では入れない場所、ヒグマの追跡は徒歩 (R7とR6で変更なし)
	捕獲・目撃・痕跡 (参考:R6年実績)	捕獲・目撃なし、4月30日に糞・足跡?の痕跡発見 (目撃あり(2月10日のみ、オス1))	捕獲・目撃・痕跡なし (目撃なし)	捕獲・目撃なし、4月27日に糞・足跡の痕跡発見 (目撃なし)
	ドローン使用 (参考:R6年実績)	使用なし (使用回数 1回(2月11日)、個体・痕跡の確認なし) (使用回数 1回(3月16日)、個体・痕跡の確認なし) (使用回数 1回(2月25日)、個体・痕跡の確認なし)		